

3月24日：ひとりひとりのためのニュース

昨日から今朝にかけて、また地震(余震とは言えないだろう?)が頻繁に起こっていますが、職員方各家庭はご無事でしょうか?。巷では東北自動車道が一般開通をしたりと、徐々に交通網が復旧されつつあります。しかし、問題は燃料のガソリン不足です。市内幹線道路はスタンドへの各箇所渋滞が見られています。早く、早く燃料を・・・と切望する次第です。職員の皆さんも渋滞に巻き込まれないで、安全運転での出勤をお願い致します。

福島希望の光を祈ります。 ～おおつき職員に新たなる命が誕生～

◆今被災地では尊い命の重さを実感しています。もっと生きたかった命、生きているはずだった命、九死に一生を得た命、生き続けている命、そして特養おおつきには「生まれてきた新たな命」にめぐり逢いました。

特養おおつきで介護職として働いている佐藤佐智子さんに3月21日(月)午前2時01分に待望の男の子(第2子)が産まれました。予定日より13日早い出産ではありましたが、2458gの立派な胎児として震災後10日目に産声を上げました。

佐智子さんは震災前から夫の実家で過ごし、震災後は自分の実家(石川町)に戻って過ごされていました。「震災後は出産時のことですごく生活に緊張感がありました。けれど自分の実家に戻った時に緊張感がふっと抜けたように感じました。赤ちゃんもびっくりして早く会いたって思ったのかも。」と予定日より早い出産について話してくれました。「(出産後)4日目ですが、快適に過ごせています。」とされていますが、病院内は予定日前の出産が続き、18日から満室状態が続いているとのこと。また、乳幼児への水道水の汚染飲用問題が騒がれていますが、市からの通達や援助はなく病院の医院長独自の判断でペットボトルの水や出産婦の飲料水なども、買い出しに走ってもらい与えられているとのことでした。個人の開業医の病院では飲料水も食料も備蓄が少なく、今後の出産状況に影響が出ていくことが懸念されます。「テレビを見ているだけの生活では不安が募るばかりです。これからの生活を頑張らなくちゃと思います。」と佐智子さんも退院後の生活に不安を感じています。

しかし、希望の光は着実に明日へ未来へと歩みを止めずに歩み続けています。名前は現在お父さんが真剣に悩み続けているとのこと。「こんな時に生まれてきた子だから、小さくてもしっかりと前を向いて育ててほしい。」と佐智子さんもわが子を抱く両腕にしっかりと力強いものを感じました。

退院は26日(土)です。これから次世代を担っていく子どもたちに私たちが今出来ることは、早く生活を取り戻し、希望の光を受け継いでもらえるように力合わせて生きていくことでしょうか。佐智子さん、本当におめでとう!

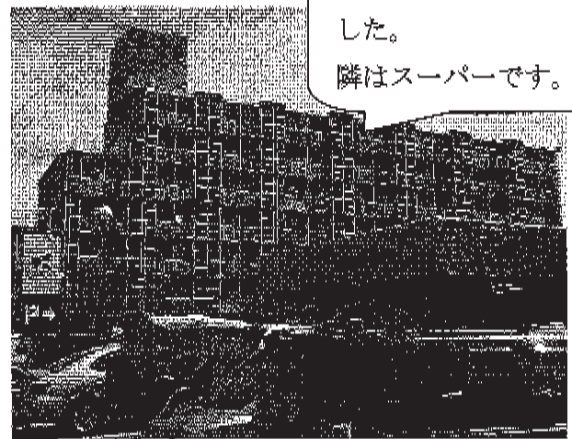


① 被災したって負けません！ ～ヘルパーさん活動再開～

◆職員の中には震災後家を離れて避難した人も少なくありません。おおつきヘルパーステーションで登録ヘルパーとして活動されている車田恵子さんもその1人です。

車田さんは大槻町にある自宅マンションで一人暮らし。ご自宅にいるときに震災に遭われました。マンション7階の自宅の中はひどい揺れでメチャクチャになりとても住めない状況になりました。その日の夜から地域の避難所となっていた小学校へ一時避難され、ようやく3日後に自宅へ戻り後片付け。その際には同じマンションの方々が一人暮らしの車田さんを知っていたので、片付けに協力してくれたそうです。皆同じマンションに住み同じく被災したのに協力していただき有難かったと車田さんは振り返ります。そして震災から4日後には徒歩で職場のヘルパーステーションまで来て、自転車で地域へと訪問活動に出かけました。

「今はみんな同じ気持ちで頑張っているんだから、被災したって負けませんよ」と気持ちを引き締めて今日もヘルパー活動に出かけて行きます。



自宅は最上階の7階でした。
隣はスーパーです。

② 今後の動きについて

◆昨日郡山医療生協にて、「正確に学ぶ放射線・人体への影響」と題してわたり病院の齋藤紀医師が講演学習会を行ないました。桑野協立病院・くわの福祉会関係者が集まる中での講演で「現在、人体への影響は直ちにはない」ことなどを強調されました。くわの福祉会では全職員へ伝達講習の形を取り周知していく予定です。

◆本日よりおおつきデイサービスセンターが通常事業を再開いたしました。今日のご利用者は30名でした。今後とも宜しくお願い致します。

◆本日午前中に「21・老福連」より第2便の救援物資が届きました。食料を中心に、飲料水なども多大な数を届けていただき誠にありがとうございました。地域への配給にも務めさせていただきます。



●お知らせ●

- ①インフルエンザの流行が続いております。引き続き、外からの繁殖を防ぐためにも出入りする職員の皆さま、一人一人意識を持って行動して下さい。
- ②郡山市で水道水より放射性物質が検出されました。が、是非上記の学習会資料を参照下さい。
- ③念を押して、ガソリンの供給に関しては事務所の多勢までご連絡下さいませ。

発行：福島県郡山市大槻町西勝ノ木5-1

024-962-3939

施設長 菊谷 朗